

# 地域経済動向調査（平成 29 年 9 月版）

## ●調査目的

和歌山県内および、日高、由良、美浜、印南、みなべ地域の観光客の動向調査することで、観光産業に従事する小規模事業者の経営支援や事業計画策定の基礎資料として活用する。

## ●調査対象物

- ・ 中小企業景況調査 (調査予定時期：8月、11月、1月、4月 年4回)
  - ・ 紀陽銀行の経済指標 (調査予定時期：7月、10月、2月 年3回)
  - ・ 地域経済分析システム (調査予定時期：10月)
  - ・ 和歌山県観光客動態調査 (調査予定時期：9月)
- ※調査予定時期は、前後することがあります。

## ●調査時期

本データは、平成29年9月時点の公表資料に基づいています。

## ●表の見方

前期と比較して

- ↗ 数値が良化したもの
- 数値が大きく変わらないもの
- ↘ 数値が悪化したもの

で表記しています。(対比している数値は、前月比や前年同月比等、項目により異なります。)

## ●調査主体

由良町商工会、日高町商工会、美浜町商工会、印南町商工会、みなべ町商工会

## 1. 和歌山県内の観光客の動向

平成 28 年の日帰り客数は、29,623 千人(前年比 106%)と前年の 27,713 千人を大きく上回った。宿泊客数 5,247 千人を加えた観光入込客総数は、34,870 千人と、前年に比べ約 1,471 千人と大幅に増加した。日帰り客数が大幅に増加しており、宿泊客数を加えた総数は 2 年連続で史上最高を更新した。

観光入込客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↑		↑		↑		↑
	30,016 千人		30,812 千人		33,399 千人		34,870 千人	

平成 28 年の和歌山県の観光入込客総数は、約 34,870 千人 で前年比 104%と増加傾向にある。

日帰り客	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↑		↑		↑		↑
	25,050 千人		25,640 千人		27,713 千人		29,623 千人	

平成 28 年の和歌山県の日帰り客数は、約 29,623 千人 で前年比 106%と増加傾向にある。

宿泊客	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↑		↑		↑		↓
	4,966 千人		5,181 千人		5,686 千人		5,247 千人	

平成 28 年の和歌山県の宿泊客数は、約 5,247 千人 で前年比 92.3%と減少に転じた。ただし、外国人宿泊客数 約 500 千人で前年比117%と増加傾向にある。

### 《和歌山県下の観光客、史上最高の要因》





史上最高の入込客数を記録した昨年に引き続き、「和歌山ブランドの拡大」と「持続可能な観光地づくり」を基本に、国内外に向けて本県の誇る世界遺産ブランドを中心にメディアや旅行会社への提案活動を継続的に展開し、本県の魅力を発信した。また、地域と協働した新たな魅力創造への取組や、公衆トイレやフリー Wi-Fi、多言語通訳等の受入環境の整備を進めてきた結果が、史上最高の更新につながった。

具体的には、「水」を切り口に世界遺産ブランドを取り込みながら、まだ知られていない和歌山の魅力を発信する「水の国、わかやま。」キャンペーンにより周遊を促進した結果、由良町・旧花園村(かつらぎ町)・古座川町・旧古座町(串本町)などで入込客が増加してきている。





平成28年大河ドラマ「真田丸」の主人公真田信繁(幸村)のゆかりの地である高野山・九度山に加え、徳川ゆかりの地など紀北エリアにある歴史スポット等を含む地域の観光資源を効果的に情報発信することで、紀北エリアでの周遊と滞在(消費)を促進した。

## 2. 和歌山県内の主要観光地別動向





和歌山県内の主要観光地別の観光入込客総数の推移を下記に示す。なお、( )内のパーセンテージは、平成18年の観光入込客総数を 100 として比較した数字であり、長期的な観光客の動向変化を表す。なお、平成18年と比較して、105%以上の増加を「晴れ」、80%~100%を「曇り」、80%以下を「雨」として表記した。

和歌浦、紀三井寺 和歌山城ほか 観光入込客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↑		↑		↑		↑
	5,194 千人 (107%)		5,291 千人 (109%)		5,507 千人 (113%)		5,598 千人 (115%)	
( )内は平成 18 年を 100 とした比較								





平成 28 年 和歌山市内では、宿泊客数が約 902 千人(対前年比 107.5%)、日帰り客数が約 5,590 千人(対前年比 100.1%)となり、全体で約 6,492 千人(対前年比 101%)となった。和歌山市内の主要観光地である和歌山浦、紀三井寺、和歌山城等への入込客数は 5,598 千人となり、増加傾向である。外国人宿泊客数は、関西国際空港への航空便の増加などにより、前年比 145.81%の約 156 千人となった。

白浜温泉、椿温泉 観光入込客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↓		↓		↑		↓
	3,148 千人 (100%)		3,108 千人 (99%)		3,444 千人 (109%)		3,323 千人 (106%)	
( )内は平成 18 年を 100 とした比較								





平成 28 年 白浜温泉、椿温泉の宿泊客数は約 1,940 千人(前年比 94.0%)、日帰り客数が約 1,383 千人(前年比 100.3%)となり、全体で約 3,323 千人(前年比 96.5%)となった。大型宿泊施設がリニューアル工事のために休館した影響もあり、宿泊客数が減少したと考えられる。外国人宿泊客数は、約 101 千人と対前年比 104.4%となった。特に中国、韓国、香港などアジア圏からの宿泊客数が増加傾向にある。

勝浦温泉 湯川温泉 観光入込客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↑		↓		↑		→
	1,656 千人 (81%)		1,628 千人 (79%)		1,664 千人 (81%)		1,661 千人 (81%)	
( )内は平成 18 年を 100 とした比較								

平成 28 年 勝浦温泉、湯川温泉の宿泊客数は約 694 千人(前年比 98.9%)、日帰り客数は約 968 千人(前年比 100.5%)となり、全体で約 1,662 千人となった。紀勢自動車道、那智勝浦新宮道路の開通により日帰り客数は前年に引き続き増加しているが、大型宿泊施設がリニューアル工事で休館したことにより、宿泊客数が減少した。外国人宿泊客数は約 54 千人と対前年比 110.0%となった。中国、香港、台湾には依然として人気が高く、宿泊客数も多い。

煙樹海岸、白崎海岸 道成寺、御坊ほか 観光入込客総数  ( )内は平成 18 年を 100 とした比較	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		→		→		↗		↗
	1,083 千人 (85%)		1,089 千人 (85%)		980 千人 (77%)		1,022 千人 (80%)	





平成 28 年 煙樹海岸や白崎海岸、道成寺など、御坊、美浜、日高エリアの観光客入込客総数は、1,022 千人となった。前年と比較すると、約 40 千人増加し、1,000 千人を回復したが、平成 18 年と比較すると、観光客入込客総数は、約 20%減少している。なお、平成 28 年の実績では、宿泊客数 144 千人、日帰り客数は 877 千人となっている。

高野山 観光入込客総数  ( )内は平成 18 年を 100 とした比較	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↗		↗		↗		↘
	1,374 千人 (113%)		1,414 千人 (117%)		1,991 千人 (164%)		1,760 千人 (145%)	

高野山エリアの宿泊客数は約 225 千人(前年比 51.1%)、日帰り客数が約 1,536 千人(前年比 99.0%)となり、全体で約 1,760 千人(前年比 88.4%)となった。高野山開創 1200 年を迎えた平成 27 年と比べると宿泊客数が大幅に減少したものの、交通路が整備されたことで日帰り客数は高い水準を維持した。





### 3. 商工会管内の観光客の動向

日高町、美浜町、由良町、みなべ町、印南町の観光客入込客総数の推移を下記に示す。なお、( )内のパーセンテージは、平成 20 年の観光客入込客総数を 100 として比較した数字であり、長期的な観光客の動向変化を表す。なお、平成 20 年と比較して、105%以上の増加を「晴れ」、80%~100%を「曇り」、80%以下を「雨」として表記した。

日高町 観光客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↑		↓		↑		↓
	250 千人 (89%)		228 千人 (82%)		242 千人 (87%)		236 千人 (84%)	





( )内は平成 20 年を 100 とした比較

平成 28 年度の日高町の観光客総数は、236 千人(うち宿泊客 38 千人、日帰り客 198 千人)である。近年は 230 千人前後で安定推移しているが、平成 20 年の観光客総数 278 千人と比較すると、約 16%減少している。

美浜町 観光客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↓		↓		↓		↓
	25 千人 (35%)		20 千人 (28%)		19 千人 (26%)		18 千人 (25%)	





( )内は平成 20 年を 100 とした比較

平成 28 年度の美浜町の観光客総数は、18 千人(うち宿泊客 9 千人、日帰り客 9 千人)である。平成 25 年以降で見ると、観光総数は 4 年連続で減少している。また、平成 20 年の観光客総数 71 千人と比較すると、1/4まで減少している。

由良町 観光客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↓		↑		↓		↑
	220 千人 (56%)		231 千人 (59%)		202 千人 (51%)		224 千人 (57%)	





( )内は平成 20 年を 100 とした比較

平成 28 年度の由良町の観光客総数は、224 千人(うち宿泊客 29 千人、日帰り客 195 千人)である。平成 28 年度は、「水の国、わかやま」のキャンペーンにより周遊を促進した影響などにより、日帰り客が前年と比較し増加した。

印南町 観光客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↓		↓		↓		↓
	718 千人 (128%)		709 千人 (126%)		648 千人 (115%)		569 千人 (101%)	

( )内は平成 20 年を 100 とした比較

平成 28 年度の印南町の観光客総数は、569 千人(うち宿泊客 4 千人、日帰り客 564 千人)である。平成 25 年以降で見ると、観光総数は 4 年連続で減少しているが、それでも平成 20 年の 560 千人を上回っている。宿泊施設が少ないこともあり、他地域と比較し、日帰り客が多いのが特徴である。

みなべ町 観光客総数	平成 25 年		平成 26 年		平成 27 年		平成 28 年	
		↓		↑		↑		↓
	637 千人 (78%)		655 千人 (80%)		662 千人 (81%)		649 千人 (79%)	

( )内は平成 20 年を 100 とした比較

平成 28 年度のみなべ町の観光客総数は、649 千人(うち宿泊客 175 千人、日帰り客 475 千人)である。近年の観光客総数は 650 千人前後で安定推移している。なお、観光客総数は平成 20 年の 812 千人と比較すると、約 20%減少しているものの、これは日帰り客の減少(平成 20 年 646 千人→475 千人 約▲171千人減)が大きな要因であり、宿泊客は増加傾向にある(平成 20 年 166 千人→175 千人 約 9 千人増)。

出所 平成 28 年 和歌山県観光客動態調査報告書

[http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062400/documents/doutaichousa\\_1.pdf](http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/062400/documents/doutaichousa_1.pdf)